

逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会

令和4年度事業に関する評価報告書

令和5年12月

目 次	頁
1. 趣旨	1
2. 調査・評価の対象と方法	2
3. 総括	3
4. 基本計画と対象事業の関係	4
5. 評価シート	5
参考資料	22
1. 逗子文化プラザホール 令和4年度自主文化事業一覧	
2. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会規則	
3. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 委員名簿	
4. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 会議日程	

## 1. 趣旨

逗子市文化振興条例（平成 21 年 10 月）（以下、「条例」という。）では、「文化創造の主役は市民であり、市民は文化を創造し、享受する権利を持つことを市は認識しなければならない。そのために、市は市民の文化活動を広く支援し、必要な環境を整備する使命を負っている。」（前文より）と述べ、市の責務として「市は、文化活動を行う市民、団体及び事業者と協働し、地域における人材、資源、情報等を活かして、文化の振興を図るものとする。」（第 4 条第 3 項）と定めている。この条例は、制定の際に様々な検討が重ねられた結果、文化を独立した行政分野として位置付け、その振興に取り組むべきであることを指摘し、文化における市民の権利を明文化するとともに、市の文化振興施策の基本方針を定め、市の責務をより明確に示したものである。

これに基づき、「文化振興施策を総合的かつ計画的に推進するため」に『逗子市文化振興基本計画（平成 23 年 3 月策定、平成 27 年 3 月改訂）』（以下、「基本計画」という。）を策定した（条例第 5 条）。そこで「地域の文化を市民の手で拓く」を基本方針として、6 つの「施策の柱」のもと、18 の「基本施策」を体系化している。

また、「基本計画の推進に当たって、基本計画に基づく施策、事業等が的確に実施されているかどうか等について、調査、評価等を行う組織を設置するもの」（条例第 7 条）とされ、平成 24 年度に文化振興基本計画調査・評価委員会（以下、「委員会」という。）が発足した。この組織は、「基本計画の内容及び基本計画に基づく施策、事業等の評価、見直し等について調査、検討を行い、その結果に基づき市に提言するもの」（条例第 7 条第 2 項）とされている。

令和 4 年度の評価に当たっては、前年度に引き続き、基本計画の 6 つの「施策の柱」とそれぞれの施策の柱の下に位置付けられた「基本方針」が、令和 4 年度中に実施された事業によってどの程度実現できたか、という視点から評価するとともに、上記の事業のうち、基本計画の上位計画である逗子市総合計画実施計画及び基幹計画「共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン」の対象事業として位置付けられているものについては、計画上での目標を示し、達成状況を評価の中で考慮している。

今後、この評価報告書を踏まえ、基本計画に基づく施策や、事業がよりの確に実施され、市の文化振興施策が市民に資するものとなることを願っている。

## 2. 調査・評価の対象と方法

令和4年度は、令和3年度の調査・評価の方法（平成29年度に評価方法変更、平成30年度に評価事項追加）を継続することとした。

評価に当たっては、6つの「施策の柱」毎の評価シートを設け、「基本施策」が掲げる目標に対し、対象事業の取組みの結果と、文化振興所管課（文化スポーツ課）の自己評価を求め、それに対する本委員会としての評価を行った。評価は、実現度合いを以下の3段階で評価したうえで、意見を述べることとした。

- a. 順調である。
- b. 概ね順調である。
- c. 順調であるとみなせない。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）の影響により、一部事業の縮小を余儀なくされたものもあるが、コロナ前と同等の内容を実施できていない事業についても、実施可能な方法を検討したことについては一定の評価を示している。各事業のコロナの影響に関することは、該当する「施策の柱」毎の評価シートに記載している。

### 3. 総括

「1. 趣旨」に記したとおり、基本計画は、基本方針「地域の文化を市民の手で拓く」の下に6つの「施策の柱」を掲げ、本委員会ではこの6つの「施策の柱」に沿って毎年度の評価を行っている。また、基本計画の推進に当たって重点的に取り組むべき事業として4つの事業が挙げられており（6つの「施策の柱」との関係は次ページ参照）、平成27年度（2015年度）から令和4年度（2022年度）までの8年間の計画期間を3期（平成27年度～平成28年度、平成29年度～令和元年度、令和2年度～令和4年度）に分け、具体的な行動計画が策定されている。計画改定が令和5年度に延期されていることから、今回はコロナの影響を大きく受けた計画期間最後の3年間の総括を述べる。

令和2年度からは、コロナの影響により、事業の中止・変更や、市内の文化活動の拠点である逗子文化プラザホール（以下「ホール」という。）をはじめとする施設の休館・利用制限等、市内の文化活動に大きな影響があった。令和4年度は終息に向かったが、ホールは一部利用方法を制限しての運営となる等の制約が残った。そんな中でも、市や施設として適切な対応を講じ、『逗子アートフェスティバル』の継続や、ホールにおける鑑賞事業や体験型プログラムの再開、文化関連講座等、多くの事業が再開（実施）できたことは評価したい。今後も、コロナの経験を教訓として、持続可能な文化活動を目指して検討を続けてほしい。今年度は現計画の最終年度でもあるため、計画に掲げる4つの重点事業の評価という形で以下に述べていく。

一点目『『逗子アートフェスティバル』の継続』について、市民中心の運営主体「逗子アートネットワーク」による開催が6年を迎え、市民協働を実践しながら地域文化の担い手の育成や市民の文化活動の活性化に貢献する事業に成長していることを評価したい。今後も、持続可能な事業であり続けるための予算措置等を含め、市として事業の位置付けについて検討を続けてほしい。また、逗子市文化協会や他の文化団体等、幅広い市民の文化活動の取り込みに期待したい。

二点目「アウトリーチ活動の充実」については、特にホールの自主文化事業『アート便』の拡大により、市民が文化芸術活動に触れる機会を積極的に提供している。コロナ禍でも実施可能な方法を検討して継続したことで、参加人数や対象施設の増加につながったことは高く評価したい。アウトリーチは、未来を担う世代への感性教育や、高齢者や障がい者等の文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチの観点から非常に重要な役割を果たすと考えられるため、今後の活動の広がり期待したい。

三点目「文化振興のための環境づくり」については、ホールが市の文化活動の拠点の役割を果たしていると言える。自主文化事業によって市民に様々な文化芸術の鑑賞機会を提供しているほか、市民が安心して利用できるよう、日々適切な維持管理を行っている。今後は、コロナ禍における取組みを教訓とした文化活動の持続可能な環境づくりや、指標化にも期待したい。また、今後課題とされる部活動の地域移行について、各地域の文化活動との連携を通じて、地域において子どもたちの文化芸術活動の機会を将来にわたって確保し、文化芸術に継続して親しめる環境を構築できるよう、実現可能な手法を検討してほしい。

四点目『『(仮称) 逗子アーカイブス』の構築』については、関係部署との連携・協力の体制づくり等を期待していたが、具体的な取組みに繋がらなかった。市民や民間事業者との連携等も視野に入れ、市として実現可能な方法を検討してほしい。また、これまで進展が見られなかった逗子アーカイブスや、デジタル化も踏まえた郷土資料の保存・公開、文化資源の活用についても、適切な方法を再度検討してほしい。

最後に、コロナ禍で社会情勢が大きく変わり、文化活動の在り方が問われた中で、多くの事業を再開（実施）できた点には一定の評価を示したい。今後も市民の文化活動の広がりにつながる多様な事業の検討や展開を期待する。

4. 基本計画と対象事業との関係

6つの施策の柱と基本施策	
(1) 地域文化の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもたちの文化創造体験の拡充</li> <li>②市民のアートリテラシーの向上</li> <li>③地域文化振興の担い手育成</li> </ul>
(2) 市民文化活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市民文化活動への支援の拡充</li> <li>②市民による市民のための文化振興の仕組みづくり</li> <li>③市民参画・協働型事業の充実</li> </ul>
(3) 文化芸術に接する機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>①鑑賞機会の拡充</li> <li>②体験や参加、参画機会の充実</li> <li>③文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチ</li> </ul>
(4) 文化資源の活用による地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>①逗子の歴史的資産、伝統文化の継承と発展</li> <li>②豊かな自然環境の活用</li> <li>③人的資源の発掘と連携</li> </ul>
(5) 文化情報の収集と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報の収集・発信</li> <li>②情報のネットワークづくり</li> <li>③(仮称) 逗子アーカイブスの構築</li> </ul>
(6) 文化振興のための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>①行政の文化振興体制の明確化と連携体制の整備</li> <li>②施設・整備の充実など</li> <li>③近隣市町との交流・連携</li> </ul>

対象事業等一覧	
文化スポーツ課の所管する事業等	各事業等に該当する 6つの施策の柱と基本施策
1 文化プラザホール維持管理事業	
文化プラザホール指定管理	
自主文化事業	(1) ①③ (2) ①③ (3) ①②③ (4) ③
ホールの運営(貸館等)	(5) ①
ホールの維持管理	(6) ②
2 文化プラザホール整備事業	
工事、修繕	(6) ②
3 文化活動振興事業	
文化振興基本計画策定・推進会議	(5) ③
文化振興基本計画調査・評価委員会	
逗子アートフェスティバル	(1) ②③ (2) ②③ (4) ③
逗子市文化祭	(1) ③ (4) ①
他部課の所管する事業等	各事業等に該当する 6つの施策の柱と基本施策
スマイル講座(子育て支援課)	(1) ①
生涯学習講座事業(市民協働課)	(1) ② (3) ②
社会教育講座(社会教育課)	(1) ② (3) ② (6) ③
旧郷土資料館の活用について(緑政課)	(4) ① (6) ①
自然の回廊プロジェクト推進事業(経済観光課)	(4) ②
逗子フィルムコミッション(経済観光課)	(4) ②
共育ポータルサイトの運用(市民協働課)	(5) ②
逗子フォト事業(企画課)	(5) ③

【基本計画重点事業1】  
『逗子アートフェスティバル』の継続  
<リーディング事業>

【基本計画重点事業2】  
アウトリーチ活動の充実

【基本計画重点事業3】  
文化振興のための環境づくり

【基本計画重点事業4】  
『(仮称) 逗子アーカイブス』の構築

5. 評価シート (前)は前年度(令和3年度)実績)

施策の柱	(1) 地域文化の担い手の育成
地域の文化は市民が継承し、創造し、発展させるものと捉え、担い手を育成するために、文化への理解・関心の向上と活動への参画を促し、地域文化振興に必要な専門知識を持った市民を増やす。特に、吸収力旺盛な青少年期における文化との接触による次世代の担い手育成を図る。	

個別計画での基本施策と令和4年度の事業概要

① 子どもたちの文化創造体験の拡充	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育と連携しながら、子どもたちに対する芸術に触れる機会や文化・芸術教育を充実させます。</li> <li>○ 地域において多世代との交流を通じた、地域の文化体験など、地域生活における文化接触を豊かにしていきます。</li> <li>○ ホール自主文化事業において創造体験ができる機会を充実させます。</li> </ul>
実施内容	<p><b>【ホール自主文化事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アート便 2022 (学校教育と連携し子どもたちが芸術に触れる機会を届けるアウトリーチ事業) 3メニュー(落語、和太鼓、太神楽)提供。市立小・中学校8校及び市立保育園2園に対し授業数13件を実施。園児・児童・生徒延べ1,374人参加。 <b>前</b>2メニュー(落語、和太鼓)提供。市立小中学校8校、授業数11件を実施。児童・生徒延べ869人参加。</li> <li>● 絵本作家山本省三さんと一緒に絵本をつくろう 2022 こどものための手作り絵本講座 7月30日(土)、8月1日(月)、3日(水)、15日(月)2クラスで開催。 今年度はコロナ対策でオンライン受講制度も実施。95人参加(うちオンライン25人参加)。 <b>前</b>6月19日(土)、7月11日(日)、31日(土)、8月28日(土)2クラスで開催。68人参加。</li> <li>● 逗子開成高等学校和太鼓部と共演による和太鼓グループ彩-sai-逗子公演 Vol. 4 1月21日(土)なぎさホールで開催。329人来場。逗子開成高等学校和太鼓部と共演した。共演に向けて和太鼓グループ彩-sai-による事前指導を7回実施し、プロの技術や演奏を直接学べる場を設けた。 <b>前</b>449人来場。事前指導6回実施。</li> <li>● 講座 コンサートの作り方 6月10日(金)、17日(金)に県立逗葉高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、28人参加。ホール事業課担当と舞台技術担当者が講師を務めた。1日目はホールにおける公演制作や舞台についての講義を中心に行い、2日目は公演制作のワークショップを行った。 <b>前</b>10月22日(金)、29日(金)に、県立逗葉高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、25人参加。</li> <li>● トモイクフェスティバル 2023 コドモーション 共に学び共に育つ「共育(ともいく)のまち」の実現に向けて、市民交流センターとの共催で3月26日(日)に塗り絵をアニメーションにするワークショップをさざなみホールにて開催。3クラス42人参加。</li> </ul> <p><b>【逗子市文化協会によるスマイル講座】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学生から高校生を対象とした逗子市文化協会による講座(子育て支援課) ダンス10回、バレエ3回、日本舞踊10回、茶道5回、美術7回を開催。コロナ拡大防止のため、ダンス2回、美術3回中止。 <b>前</b>ダンス(6回)、茶道(4回)、バレエ(3回)を開催。コロナ拡大防止のため、和楽器(6回)、日本舞踊(5回)、囲碁(4回)中止。</li> </ul>
② 市民のアートリテラシーの向上	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 逗子の伝統文化、歴史的資産はもとより、様々な文化に関する教養講座などを実施し、市民の文化に対する興味や知識を向上させます。</li> <li>○ 学ぶことと創造すること、市民協働を進めながら、生涯学習と文化振興を連携させ、幅広い視野や包容力ある人材を育みます。</li> <li>○ 団塊の世代が地域に戻り、地域文化活動に参画していけるような機会を設定していきます。</li> </ul>
実施内容	<p><b>【逗子アートフェスティバル(ZAF) 2022 の開催】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 10月8日(土)～11月25日(金)で開催。全23企画(うち自由企画10企画、連携企画2企画)。企画者及び来場者数約9,234人(連携企画除く)。</li> </ul>

前 10月15日(金)～11月14日(日)、12月3日(金)～5日(日)で開催。全22企画(うち自由企画10企画)。  
企画者及び来場者数6,586人。

- 企画運営は「逗子アートネットワーク (ZAN)」のメンバーが中心となって行った。
- ZANは共同代表制とし、3人が代表を担った。
- SNSを活用した広報活動に力を入れて開催したことにより、イベントの認知度が向上し、特に大学生等の若い世代の参加につながった。

#### 【市民による文化事業への後援、協力】

- 共催2件、後援2件 合計26件

前 協力2件、後援22件 合計24件(うちコロナ拡大防止のため1件中止)

#### 【文化に関する講座の実施】

- 生涯学習講座事業9講座開催。参加者延べ403人。(市民交流センター主催事業(所管:市民協働課))

前 市民交流センター主催の生涯学習講座事業9講座開催。(市民協働課)うち、ずし楽習塾講座は6講座16回。  
参加者延べ546人(オンライン受講含む)。

- 文化芸術関連の社会教育講座を4回開催。参加者延べ106人。

- (1) 海のごみの話とバリアフリービーチクリーン&アート
- (2) 津田梅子らと明治維新の敗者たち～日本初の女子留学生派遣秘話～
- (3) サードエイジ連続講座
  - ① 逗子ゆかりの作家を学びま専科「石原慎太郎を偲び芥川賞・直木賞作家を知る」
  - ② 自然の回廊を歩いてみま専科「豊かな逗子の自然と歴史・文化を巡って健康づくり」

前 社会教育講座3講座実施(文化芸術関連)、参加者延べ115人。(社会教育課)

- 社会教育出張講座

沼間・小坪小学校区コミュニティセンターを会場に、文化芸術関連の趣味教養講座を3回開催。  
参加者延べ55人。

- (1) スキルアップ カメラ講座
- (2) 大人の簡単! えんぴつ画教室
- (3) ウクレレ教室 初級編

- 近代美術館入門講座

県立近代美術館葉山と連携し、同館で開催される展覧会に関する講座を4回開催。参加者延べ90人。

- (1) 生誕100年 朝倉撰
- (2) アレック・ソス Gathered Leaves
- (3) マン・レイと女性たち
- (4) 横尾龍彦 瞑想の彼方

- 県立社会教育施設公開講座「マン・レイとその時代」

芸術家マン・レイがパリで活躍した1920～30年代に開花した文化思潮を、様々な視点から紹介する講座を5回開催(県立近代美術館葉山と共催)。参加者延べ300人。

- (1) モード、デザイン、時代の風
- (2) マン・レイと女性たち
- (3) サティの眼から見たマン・レイ
- (4) マン・レイと日本の前衛写真
- (5) マン・レイとデュシャンの回転扉-あるいは写真とオブジェ

### ③ 地域文化振興の担い手育成

- |        |  |
|--------|--|
| 目<br>標 | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 地域において、文化事業の企画や制作、運営を担ったり、専門知識や技能を発揮したり、ボランティアやサポーターで参画したり、地域文化を推進していく人材の育成に取り組みます。</li><li>○ 青少年や若年層の活力を積極的に取り入れます。</li><li>○ 市民、来訪者に関わらず、市内で文化活動を行う人々の参画と参加により、交流のなかで、文化活動を活性化します。</li></ul> |
|--------|--|



実施内容	<p><b>【逗子アートフェスティバル2022 自由企画、ボランティア活動、逗子アートネットワークメンバーの活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自由企画の公募を行い、10 企画が参加。ボランティアは公募等をせず、逗子アートネットワークの参加者と過去のボランティア参加者で行った。</li> </ul> <p><b>前</b>自由企画 10 企画参加。</p>
------	--

※新型コロナウイルス感染症の影響	<p><b>【ホール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染拡大防止ガイドラインを設定し、市内の感染状況等に応じて一部利用制限して開館（練習室定員減、飲食制限等）。</li> <li>● 共催事業「なぎさプラス」、「駅前寄席 in 逗子文化プラザホール」の中止。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 逗子市文化協会によるスマイル講座を一部中止。</li> </ul>
------------------	--

自己評価と見直すべき点	<p>a. 順調である。 <b>b. 概ね順調である。</b> c. 順調であるとみなせない。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <p>コロナ禍においてもアート便を継続しつつ、対象として市立保育園を追加し、広く子どもたちに文化創造体験を届けることができた。また、アート便を受講した児童が公演に来場するといった「アート便からホールへ」という流れを作ることができた。</p> <p>ZAF2022 は、SNS での広報活動や、動画配信等により、イベントを知らない人や来場できない人に向けても広く参加を促すことができた。自由企画も公募する等、様々な広報活動により、本企画、自由企画のいずれも新たな参加者につながった。また、積極的な広報活動による ZAF の認知度向上により、ZAN には大学生等若い世代の参加が見られるようになった。</p> <hr/> <p><b>【見直すべき点】</b></p> <p>アート便については、幼稚園、保育園、小・中学校に留まらず、コロナにより実施制限があった高齢者施設等、より幅広い世代の方を対象に実施できるよう、コロナの状況を踏まえて検討していく。</p> <p>ZAF2022 は、2020 年度から同様に開催に当たって積極的にオンラインを活用したが、インターネットや SNS を利用しない人（特に高齢者）に向けた広報や企画が少なかった。</p>
-------------	---

総合計画、基幹計画における位置づけと目標	<p><b>【総合計画実施計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市として特に戦略的・重点的に取り組む「リーディング事業」に、逗子アートフェスティバルが位置付けられている。</li> <li>● 目標として「令和4年度までに、逗子アートフェスティバルの参加企画数が30 企画になっており、質の向上が図られている。」としている。</li> </ul> <p><b>【基幹計画】</b>共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン</p> <p>&lt;文化振興事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和4年度における主な事業として「逗子アートフェスティバルを開催する（トリエンナーレ方式による開催）」としている。</li> <li>● 目標として「令和4年度までに、逗子アートフェスティバルの参加企画数が30 企画になっており、質の向上が図られている。」としている。</li> </ul> <p>&lt;生涯学習講座事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和4年度における主な事業として「生涯学習の各種講座を開設する。ずし楽習塾を開設する」としている。</li> <li>● 目標として「令和4年度までに、生涯学習の各種講座が、130 講座開設されている」としている。</li> </ul>
----------------------	--

委員会の評価	<p>a. 順調である。 <b>b. 概ね順調である。</b> c. 順調であるとみなせない。</p> <p>コロナ禍が続いたなかで、アート便を保育園まで拡大し、受講した児童が公演に来場するという「アート便からホールへ」という流れが生まれてきたことは評価したい。今</p>
--------	--

後はコロナの状況も踏まえつつ、懸案の高齢者施設等、より多様な市民へのアプローチを期待したい。

逗子アートフェスティバル（ZAF）2022の開催、各種文化関連講座の実施は、当市の文化振興に対する意欲的な姿勢と同時に市民の創作・鑑賞行動への欲求の高さを窺わせる。

市民のアートリテラシー向上に関しては、コロナ禍において自粛を余儀なくされていた県立近代美術館との共催による講座も実施され、多くの方が参加された。内容的にも充実しており、評価できる一方で、高齢化もあってか、ずし楽習塾講座が終了したのは地域文化振興の担い手育成という点で寂しい。後継も含めて、生涯学習との連携について検討されたい。

今後も、当市全体の文化環境向上のため、事業の継続を可能にさせる方法を積極的に講じて取り組んでほしい。

施策の柱	(2) 市民文化活動の活性化
市民の文化活動は、心の豊かさや充足感を得るだけでなく、活力に満ちた社会や個性豊かな地域の形成など、様々な形で地域などにも還元されるものと捉え、市民個人や団体それぞれの活動を高め、広げるとともに、文化を通じた公益的な市民活動の支援を図る。	

個別計画での基本施策と令和4年度の事業概要	
① 市民文化活動への支援の拡充	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民に文化活動のための場と機会（時間）を提供し、市民と行政の役割を明確にした上で、市民文化活動の活性化のための協働を進めます。</li> <li>○ 文化活動をしていく上での相談や助言を行う仕組みや、支援や協働による活動の実現や拡大につながる仕組みを整えていきます。</li> <li>○ 文化事業の企画運営について、市民が専門的知識や技術の習得が可能となるよう支援します。</li> <li>○ 活動の目標や励みになる事業及び専門性をより高めていくための機会を設けるなど、支援を行います。</li> </ul>
実施内容	<p><b>【ホール自主文化事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (再掲) 講座 コンサートの作り方 6月10日(金)、17日(金)に県立逗葉高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、28人参加。ホール事業課担当と舞台技術担当者が講師を務めた。1日目はホールにおける公演制作や舞台についての講義を中心に行い、2日目は公演制作のワークショップを行った。 前10月22日(金)、29日(金)に、県立逗葉高等学校1年生の総合的学習のワークショップの一つとして開催し、25人参加。</li> <li>● 【共催】市民交流センターフェア2022 9月10日(土)の市民交流センターフェアにおいて、ホール共催で県立逗葉高等学校 軽音楽部・吹奏楽部発表会を行った。前述の「コンサートの作り方」に参加した生徒が、発表会の音響・照明を舞台技術スタッフとともに体験し、実際に機材を触り、本番もオペレーション体験をする貴重な体験につながった。</li> <li>● 【共催】逗子トモイクフェスティバル2022 3月25日(土)26日(日)開催のトモイクフェスティバルにおいて、ホールにて8企画を実施。「共に育つ」のコンセプトに合わせ、採用企画が決まった段階から市民団体と市民交流センターと協力し、運営・舞台技術の両面から企画者のバックアップを行った。</li> </ul>
② 市民による市民のための文化振興の仕組みづくり	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人や既存の団体との連携を図りながら、プラットフォームとなる中間支援組織の育成や、文化NPOの支援などにも取り組みます。</li> <li>○ 市民自らが企画・参加し、地域文化を振興し、地域を活性化していく仕組みづくりを進めます。</li> <li>○ 世代間交流ができるような文化事業を実施します。</li> </ul>
実施内容	<p><b>【逗子アートフェスティバル2022開催を目的とした逗子アートネットワークの活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 逗子アートフェスティバル2022の企画運営を行った逗子アートネットワークは、新たなメンバーを募集し、企画をサポートする等の形でメンバーが加わった。Facebookメンバーページ108人参加。 前Facebookメンバーページ94人参加。</li> <li>● 逗子アートネットワーク全体でのミーティング10回、その他に、ZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティングを計28回行った。オンラインミーティングを活用することで、コロナ禍でも適宜情報共有を図ることができた。 前逗子アートネットワーク全体でのミーティング10回、その他に、ZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティングを計20回行った。</li> <li>● 逗子アートネットワークの広報チームは、SNSやWebでの広報活動を積極的に行い、まちや人の魅力を市内外に広く発信することで、逗子アートフェスティバルをきっかけに来訪者を増やすことを目標とした。</li> </ul>
③ 市民参画・協働型事業の充実	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業の企画案、運営スタッフの市民公募などにより、市民参画・参加を促進します。</li> <li>○ 市民の企画力、運営力をより一層高めていく支援を行います。</li> <li>○ 市民主導型のホール自主文化事業を積極的に実施し、事業の充実を図ります。</li> </ul>

実施内容	<p><b>【逗子アートフェスティバルの継続、逗子アートネットワークのメンバーの新規募集】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 逗子アートフェスティバル 2022 を開催 ((1) ②参照)。平成 25 年度 (2013 年) のプレアートフェスティバルから 10 回目の開催となった。</li> <li>● ((2) ②再掲) 逗子アートフェスティバル 2022 の企画運営を行った逗子アートネットワークは、新たなメンバーを募集し、企画のサポート等でメンバーが加わった。Facebook メンバーページ 108 人参加。 前 Facebook メンバーページ 94 人参加。</li> </ul> <p><b>【トモイクフェスティバル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民交流センター主催で、3 月 25 日 (土)、26 日 (日) 開催。延べ 1,800 人来場。 前 市民交流センター主催で、3 月 19 日 (土)、20 日 (日) 開催。延べ 877 人来場。</li> </ul>
------	--

※新型コロナウイルス感染症の影響	<p><b>【ホール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● レセプション (Re-Ce) 活動の中止。</li> </ul>
------------------	---

自己評価と見直すべき点	<p>a. 順調である。 <b>b. 概ね順調である。</b> c. 順調であるとみなせない。</p> <p><b>【自己評価】</b> ホール自主文化事業「講座 コンサートの作り方」「コンサートのつくりかた」の授業を受けた生徒が交流センターフェアの「高校軽音楽部・吹奏楽部発表会」の舞台裏体験者として音響・照明を担当するなど、プロとの協働による連続性のある文化創造体験を形にすることができた。また、市民交流センターフェア、トモイクフェスティバル、逗子アートフェスティバルに積極的に運営・舞台技術面から市民活動支援をすることで、市民の文化活動の場を提供し、ホールとしても事業内容に広がりを持たせることができた。 逗子アートネットワークは、前年度に引き続き、逗子アートフェスティバル以外にもトモイクフェスティバルで企画を行ったり、広報チームがブースを設けて周知を図る等、期間中に留まらない通年的な文化活動を視野に入れて活動している。</p> <p><b>【見直すべき点】</b> コロナの影響で中止となったホールの市民企画やボランティア活動について、アフターコロナを見据えて市民が安心して参加できるような活動の場を検討していく。</p>
-------------	---

委員会の評価	<p>a. 順調である。 <b>b. 概ね順調である。</b> c. 順調であるとみなせない。</p> <p>市民が文化活動への理解を深めるための講座やワークショップ、また市民参画・協働のための仕組みづくりが、コロナ禍にあっても手堅く行われたことが認められる。全体を通じて、様々な市民参加型、協働型事業が展開されていることを評価したい。 前々年度、前年度に引き続き逗葉高等学校の総合的学習の一環として実施された講座「コンサートの作り方」は、将来の市民自身による文化活動育成にも繋がる事業として良い企画だと言える。関心を持った生徒を今後どうフォローしていくかが課題であるが、制作ワークショップでの成果をホールで開催された「交流センターフェア 2022 (県立逗葉高等学校 軽音楽部・吹奏楽部発表会)」において実体験する貴重な機会もプログラミングされ、地域の青少年の文化創造活動を支援する事業として、今後も継続されることを期待する。 また、ZAF の運営を担う逗子アートネットワーク (ZAN) の活動も熱心に行われており、トモイクフェスティバルにも協力するなど、これからの市民文化活動の活性化に向けて重要な役割を果たしていくことが期待できる。今後に向けてさらに多くの市民との連携・参加を期待したい。</p>
--------	--

施策の柱	(3) 文化芸術に接する機会の拡充
<p>条例で定める、文化芸術を創造し、享受することは市民の権利であることを実現するため、すべての市民が文化芸術に触れることのできる機会を提供するように努める。特に、文化事業を企画したり、運営に参画したり、支援する機会や、文化芸術に触れることが困難な市民が気軽に接する機会の拡充を図る。</p>	

個別計画での基本施策と令和4年度の事業概要

① 鑑賞機会の拡充	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民ニーズにあった多彩な鑑賞型事業を実施します。</li> <li>○ 市民の企画による事業を募集、協働にて実施します。</li> </ul>
実 施 内 容	<p><b>【ホールによる鑑賞機会の拡充】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鑑賞型事業を6件実施。ジャンル別内訳は、音楽関係4件、伝統文化・古典芸能2件。平均満足度は84.3%。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月6日(土) 渡辺香津美×沖仁</li> <li>・ 9月11日(日) 逗子落語会 林家たい平・桃月庵白酒 二人会</li> <li>・ 1月14日(土) さざなみ亭落語会 三遊亭わん丈&amp;みんなで創る落語会 其の六</li> <li>・ 2月4日(土) 山田姉妹ソプラノデュオコンサート ～筑前琵琶の音色とともに～</li> <li>・ 2月5日(日) 若手演奏家シリーズ #12 SHUREI -秀麗なる木簡五重奏の音色-</li> <li>・ 3月11日(土) TUKEMEN CONCERT The BEST ～Road to 15th Anniversary～</li> </ul> </li> <li>前鑑賞型事業を6件実施。ジャンル別内訳は、音楽関係3件、伝統文化・古典芸能3件。平均満足度は81.2%。</li> <li>● 図書館連携事業「おはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> <li>1月19日(木)開催。2～3歳の子どもと保護者対象の「おひざにだっこのおはなし会」と、4～6歳の子どもの対象の「わんぱくおはなし会」の中で、おとなのための手作り絵本講座の完成作品をそれぞれ1冊ずつ読み聞かせした。</li> <li>前12月16日(木)開催。2～3歳の子どもと保護者対象の「おひざにだっこのおはなし会」、4～6歳の子どもの対象の「わんぱくおはなし会」実施。</li> </ul> </li> </ul>
② 体験や参加、参画機会の充実	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホールにおいて、鑑賞型事業の実施に合わせ、そのテーマに沿った各種講座やワークショップを実施します。</li> <li>○ 市内公共施設などにおいて、各種講座事業を実施します。</li> </ul>
実 施 内 容	<p><b>【ホール自主文化事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 初心者向け手話ワークショップ (HANDSIGN 手話パフォーマンス LIVE 連動企画) <ul style="list-style-type: none"> <li>「HANDSIGN 手話パフォーマンス LIVE」公演の意義を深めるプレワークショップとして、神奈川県聴覚障害者福祉センターから2人の講師を招き、初心者向けの手話ワークショップを実施した(7人参加)。聴覚障害に関する基本知識の講義、あいさつや会話等の手話実践、HANDSIGNの曲に合わせて手話を行うカリキュラムを行った。</li> </ul> </li> <li>● 【共催】逗子次世代育成プロジェクト Vol.2 「和太鼓×尺八×ピアノ Session Live」 <ul style="list-style-type: none"> <li>公演の前日には、和太鼓奏者の葛西氏による「和太鼓ワークショップ」を開催し、9人の参加があり、和太鼓の歴史等も交えながら、太鼓のたたき方のレクチャーを行った。</li> </ul> </li> <li>● みんなでアート2022 事前ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>後述するみんなでアート2022の事前ワークショップ企画として、年間を通して8回の関連ワークショップを実施。ファッションショーイベントで、実際に参加者が着るドレスを、古着からリメイクして一緒に作成するなど、ギャラリーオープンスペースを活用して通りすがりの方も参加できるコーナーを設け、より誰でも過程を楽しめる連携企画となった。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【逗子アートフェスティバル2022】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ((1) ③一部再掲) 自由企画の公募を行い、10企画が参加。 <ul style="list-style-type: none"> <li>前自由企画10企画参加。</li> </ul> </li> <li>● 文化プラザホールや市立体育館等で、作品の一部を制作する参加型ワークショップを開催。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種講座の実施 ((1) ②参照)。</li> </ul>

③ 文化芸術に触れる機会の少ない人へのアプローチ	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主文化事業の内容に合わせて対象や方法を工夫しながら、PR活動を行います。</li> <li>○ 自主文化事業の実施場所をホールに限定せず、積極的にアウトリーチ事業として実施することにより、ホールに来館できない方へも文化・芸術を広めていきます。</li> </ul>
実施内容	<p><b>【ホール自主文化事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● HANDSIGN 手話パフォーマンス LIVE 歌、ダンス、手話という新しい表現方法で伝える手話パフォーマーHANDSIGN のコンサートを実施。出演者自身による手話のレクチャーも交えながら公演を行うとともに、神奈川県聴覚障害福祉センターへ手話通訳者と要約記者の派遣依頼を行った。普段の公演と異なり、障がいのある方が多く来場された。</li> <li>● <b>【共催】 みんなでアート 2022</b> 障がいのあるなしや年齢等の垣根なく交じり合う「みんなでアート 2022」を開催した。今年度は8回の事前ワークショップを重ねてギャラリーで発表した「みんなでアート展示」や、小学校と連携した「サステナブルファッションショーとみんなでミュージック&amp;ディスコ」等規模を拡大し、延べ461人参加。</li> <li>● 親子で楽しむクラシック名曲コンサート こどもオペラ 3匹のこぶた ファミリー向けの0才から入場できるオペラ公演を7月9日（土）なぎさホールで開催。歌とピアノ、フルート、チェロ、三味線による本格的な音楽劇で、公演日前には完売となり多くの赤ちゃん連れの親子519人来場。</li> <li>● 影絵劇 ふしぎの国のアリス 言葉が分からなくても0歳から楽しめる影絵劇ファミリー公演として、2月18日（土）なぎさホールで開催し、435人来場。本編のほか、手影絵のパフォーマンスや、その場で来場者と手で形を作るワークショップを行った。</li> </ul>

※新型コロナウイルス感染症の影響	特になし（感染症対策を十分に講じて関連ワークショップ等を開催）
------------------	---------------------------------

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	<p><b>【自己評価】</b> ホールでは、昨年度に引き続き検温や消毒・換気、マスク着用のほか、一部公演では人数制限や館内での距離の確保等、感染症対策を十分行い、来場者にも周知したうえで鑑賞機会を設けた。社会的包摂の事業として HANDSIGN 手話パフォーマンス公演に挑戦するとともに、「0才からのコンサート」2公演はコロナ禍でも文化芸術に触れる機会を求めるファミリー層に好評を得たことで、ほぼ完売した。</p> <p><b>【見直すべき点】</b> コロナの影響により、社会的包摂事業は、当事者である障がいのある方の参加が減った。その中でもできることを模索しながら、企画や広報を拡充していきたい。</p>

総合計画、基幹計画における位置づけと目標	<p><b>【総合計画実施計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「令和4年度までに、文化プラザホールにおいて、質の高い自主文化事業が実施され、ホール自主事業の入場者アンケートの満足度が90パーセントを超えている。」 「文化プラザホールの入場者（観客）が年10万人以上になっている。」を目標としている。</li> </ul> <p><b>【基幹計画】 共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン</b> ＜アウトリーチ活動推進事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「令和4年度までにアウトリーチ事業の訪問施設が、学校施設だけでなく高齢者福祉施設などでも実施している。」を目標としている。</li> </ul>
----------------------	---

委員会の評価	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	感染症対策を講じ、鑑賞機会の拡充、体験型プログラムが実施されたことの意義は大きい。いずれも来場者の満足度は高く、コロナ拡大により社会全体が閉塞感に包まれる

なかで、文化芸術を楽しむ喜びが実感されたことも理由のひとつと考えられる。特に、手話ワークショップや、障がいのあるなしや年齢等の垣根なく混じり合う「みんなでアート 2022」、親子対象の「こどもオペラ 3匹のこぶた」「HANDSIGN 手話パフォーマンス LIVE」等、社会的包摂型の事業の取組みは高く評価したい。0歳から入場可能なファミリー公演2企画の実施は、基幹計画重点事業に掲げるアウトリーチ活動の推進を後押しする効果的な取組みと考えられる。今後も、様々な文化芸術活動に接する機会の少ない人たちへのさらなる機会の提供に期待する。

施策の柱	(4) 文化資源の活用による地域づくり
市内に存在する様々な歴史的資産や伝統文化、青い海や緑豊かな自然環境といった環境、逗子ゆかりの作家や芸術家、各分野の専門性や学識経験を持った市民をはじめとする全ての市民を逗子の文化資源と捉え、逗子の持つ文化の力を発揮して、個性と活力ある地域づくりを進めていく。	

個別計画での基本施策と令和4年度の事業概要	
① 逗子の歴史的資産、伝統文化の継承と発展	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内に残る伝統文化などの継承を支援します。</li> <li>○ 継承すべき文化の中から、どのように継承するかなど、協働により検証していきます。</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旧脇村邸について、地元ボランティアグループによる定期的な維持管理を実施するとともに、NPO 団体主催による湘南邸園文化祭企画として限定公開を実施した。(緑政課)  前・現状の旧郷土資料館の活用について、社会教育課と緑政課で情報共有を図った。(緑政課)  ・旧郷土資料館の今後の活用について、市民からの意見等を参考に、引き続き検討している。(緑政課)</li> <li>● 旧本多家住宅主屋1棟(山の根2丁目)が国の文化財登録原簿に登録された。(社会教育課)  前・池子神明社の神輿を市の重要文化財に指定した。(社会教育課)  ・正力邸別邸(主屋、蔵、表門)と須藤家住宅(主屋、旧ボイラー室)が国の文化財登録原簿に登録された。(社会教育課)</li> </ul>
② 豊かな自然環境の活用	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 逗子の自然環境についての学習・保全・啓発につながる文化活動を推進します。</li> <li>○ 様々な映像作品のロケ地として利用される逗子を、より一層発信していくため、フィルムコミッション事業やロケ地観光などを促進していきます。</li> <li>○ 自然環境を活かした文化活動を推進します。</li> </ul>
実施内容	<p><b>【自然の回廊プロジェクト推進事業(経済観光課)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 逗子アリーナ2階ランニングコースにおいて、8月4日から自然の回廊ギャラリーを開設した。</li> <li>● 社会教育課講座「まちなかアカデミー」にて、メンバーが「自然の回廊を歩きま専科」を担当し、20人の受講者に向けて講義を受け持ち、実際に1コースを案内した。</li> <li>● 観光協会と協働により歴史的観点から見た自然の回廊ハイキングイベントを実施。新たな側面としての魅力を発信し、ホームページでモデルコースとして紹介した。</li> <li>● 観光協会との協働により自然の回廊の新たな魅力を発掘し、また自然の回廊メンバーによる講義を行う等、多くの人が自然の回廊を認知する機会を設けることができた。</li> </ul> <p><b>【逗子フィルムコミッション(経済観光課)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 撮影問合せ件数205件、市内での撮影件数70件。エキストラ登録人数157人。卒業論文対応1件。  前・撮影問合せ件数162件、市内での撮影件数38件(うち再放送2件)。エキストラ登録人数157人。</li> </ul>
③ 人的資源の発掘と連携	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域に根ざした様々な分野のアーティストや専門家を発掘します。</li> <li>○ 様々な人的資源をつなぐネットワークづくりを進めます。</li> </ul>
実施内容	<p><b>【((2)②再掲)逗子アートフェスティバル2022開催を目的とした逗子アートネットワークの活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 逗子アートフェスティバル2022の企画運営を行った逗子アートネットワークは、新たなメンバーを募集し、企画をサポートする等の形でメンバーが加わった。Facebookメンバーページ108人参加。  前・Facebookメンバーページ94人参加。</li> <li>● 逗子アートネットワーク全体でのミーティング10回、その他に、ZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティングを計28回行った。オンラインミーティングを活用することで、コロナ禍でも適宜情報共有を図ることができた。  前・逗子アートネットワーク全体でのミーティング10回、その他に、ZAN共同代表によるミーティングや、各企画者・広報担当者によるミーティングを計20回行った。</li> <li>● 逗子アートネットワークの広報チームは、SNSやWebでの広報活動を積極的に行い、まちや人の魅力を市内外に広く発信することで、逗子アートフェスティバルをきっかけに来訪者を増やすことを目標とした。</li> </ul> <p><b>【ホール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 逗子アートフェスティバル2022</li> </ul>



	<p>ホール共催事業を全2企画開催した。</p> <p><b>前</b>ホール主催・共催事業を全3企画開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>【共催】 逗子アートフィルム上映会</b> 逗子アートフェスティバル 2022 の共催企画として、7人の逗子にゆかりのある映像作家の新作短編映画、ドキュメンタリー、アニメーションの上映および上映舞台挨拶を開催した。</li> <li>● ((3) ①再掲) <b>【共催】 逗子次世代育成プロジェクト Vol. 2 和太鼓×尺八×ピアノ Session Live</b> 逗子次世代育成プロジェクト第2弾として、逗子出身ピアニストのスガダイロー氏をはじめ逗子にゆかりのある「和太鼓」、「尺八」、「ピアノ」による公演を実施。</li> <li>● <b>【共催】 逗子次世代育成プロジェクト Vol. 3 逗子 潮風芸術祭 2022</b> 令和5年度に再編統合する「逗子葉山高等学校」の校歌を生徒と一緒にワークショップを重ねて制作したアカペラグループ INSPi をはじめ、逗子にゆかりのある和太鼓奏者 葛西啓之氏、フラメンコギタリスト 東川翼氏、和太鼓グループ彩 -sai- 酒井智彬氏、パーカショニスト 容昌氏の計10人による公演をおこない、「逗子葉山高等学校」の校歌のお披露目も行った。</li> <li>● <b>若手演奏家シリーズ #12 SHUREI -秀麗なる木簡五重奏の音色-</b> 逗子文化プラザホールプロデュースによる「若手演奏家シリーズ」第12弾として、県立逗子高等学校再編統合にあたり同校を卒業し演奏活動を続ける奏者を中心に結成した木管五重奏のコンサートを開催。同級生、卒業生、元逗子高等学校の教員や近隣の方に来場いただいた。</li> <li>● <b>山田姉妹ソプラノデュオコンサート～筑前琵琶の音色とともに～</b> 逗子市広報大使の山田姉妹と、市内出身の筑前琵琶奏者の藤高りえ子氏をゲストに迎え、逗子だけのスペシャルプログラムを実施し、457人来場。公演では、美しい歌声と音色だけでなく、藤高氏による筑前琵琶について学ぶコーナーや、山田姉妹の逗子にまつわるトークコーナーを開催した。 <b>前</b>3月5日(土)「山田姉妹ソプラノデュオコンサート in 逗子 2022」開催。405人来場。</li> <li>● <b>ホールキャンパス 2022、コロコロキャップの設置</b> 地元アーティスト TAMA 氏を起用し、ホールエントランスのガラス面に瓦版を描く広報活動「ホールキャンパス 2022」を実施した。また、ペットボトルキャップの再利用に向け、TAMA 氏作の回収ボックス「コロコロキャップ」を設置した。</li> <li>● ((3) ③再掲) <b>【共催】 みんなでアート 2022</b> 障がいのあるなしや年齢等の垣根なく交じり合う「みんなでアート 2022」を開催した。今年度は8回の事前ワークショップを重ねてギャラリーで発表した「みんなでアート展示」や、小学校と連携した「サステナブルファッションショーとみんなでミュージック&amp;ディスコ」等規模を拡大し、延べ461人参加。</li> <li>● ((1) ①再掲) <b>絵本作家山本省三さんと一緒に絵本をつくろう 2022 こどものための手作り絵本講座</b> 逗子市在住の絵本作家山本省三さんによる手作り絵本講座を実施した。</li> <li>● ((3) ①再掲) <b>逗子開成高等学校和太鼓部と共演による和太鼓グループ彩-sai-逗子公演 Vol. 4</b> 逗子開成高等学校和太鼓部と共演した。共演に向けて和太鼓グループ彩-sai-による事前指導を7回実施し、プロの技術や演奏を直接学べる場を設けた。</li> </ul>
<p>※新型コロナウイルス感染症の影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「逗子自然の回廊ウォーキング」(経済観光課と国保健康課の連携事業)の中止。</li> </ul>
<p>自己評価と見直すべき点</p>	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p><b>【自己評価】</b> ホール主催・共催事業として、全23企画の内、17企画を逗子にゆかりのあるアーティスト・専門家に関わっていただき、実施することができた。逗子高等学校卒業生による「若手演奏家シリーズ」や、生徒と一緒にワークショップを重ねて制作した県立逗子高等学校校歌をお披露目した「逗子次世代育成プロジェクト」等、県立逗子高等学校再編統合にあたり、ホールの存在意義を発揮した年であった。</p>

	<p><b>【見直すべき点】</b>  地域に根差したアーティストの公演の中には、集客に結びつきにくい公演もあるため、周知方法等を見直し、広く公演を知ってもらい、ホールを訪れてもらえるよう検討する。文化資産の活用等については、関係課での情報共有は行っているが、具体的な取組みには至っていない。</p>
総合計画、基幹計画における位置づけと目標	<p><b>【総合計画実施計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市として特に戦略的・重点的に取り組む「リーディング事業」に、自然の回廊プロジェクトが位置付けられており、「令和4年度までに、道標や説明板の設置済みコースが100%となっている」ことを目標としている。</li> </ul>
委員会の評価	<p>a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。</p> <p>市の重要文化財指定や文化資源の活用については、自然の回廊プロジェクト推進事やフィルムコミッション等、市内の文化団体やNPO等との協働・連携が図られていることは評価できる。文化財の活用については、関係部署間の調整が難しい部分もあるが、旧脇村邸の限定公開や、昨年度の正力邸・須藤家住宅に引き続き旧本多家住宅の国の文化財登録原簿登録など、徐々に進展しているように思われる。</p> <p>人的資源の発掘と連携では、ホール主催・共催事業として逗子にゆかりのあるアーティスト等との連携が増え、また地元高等学校との連携も前進しており評価したい。特に、逗子アートネットワークの活動の活発化や、逗子ゆかりのアーティストによる和太鼓、尺八、琵琶、ピアノのコンサート、絵本制作等多数の事業が実施され、人的資源の発掘や事業間の連携が推進されていることが窺われる。</p>

施策の柱	(5) 文化情報の収集と活用
<p>情報による文化の活性化を目指し、市民だれでもが容易に市内・市外の文化情報を手に入れることができるような情報流通の仕組みを構築し、新しい情報メディアへの対応を図る。また、逗子の文化資源に関する情報として、文字情報だけでなく映像や音源などを集積して、活用できる仕組みを検討する。</p>	

個別計画での基本施策と令和4年度の事業概要

① 情報の収集・発信	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他市の文化施設での催しなどの情報をホール及び市民交流センターでも手軽に取得できるよう情報の収集に努めます。</li> <li>○ 各メディアに積極的に情報発信を行います。</li> <li>○ 新しいメディアを活用した情報提供の検討を行います。</li> </ul>
実施内容	<p><b>【ホール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ホール&amp;ギャラリーニュース 年間3回、各10万5千部発行。広報ずしと併せて市内全戸配布。近隣市町（横浜市、横須賀市、鎌倉市、葉山町の一部）へは、新聞折込により配布。また、サポート会27ヶ所、他館107館等に持参や郵送で配架を依頼。 <u>前</u>年間3回、各10万5千部発行。広報ずしと併せて市内全戸配布。近隣市町（横浜市、横須賀市、鎌倉市、葉山町の一部）へは、新聞折込により配布。また、サポート会27ヶ所、他館107館等に持参や郵送で配架を依頼。</li> <li>● イベントカレンダー 令和2年度までホール&amp;ギャラリーニュース5・6面に掲載していた催物情報について、読みやすくタイムリーな情報を提供するため、令和3年4月号から単ページで毎月発行を行い、市内公共施設を中心に配架している。</li> <li>● ホール SNS (Facebook、Twitter、Instagram) 情報発信 ショートムービーを活用した他の SNS との連携として、公演出演者のコメントやインタビュー動画を YouTube にアップロードし、Instagram のストーリーズ YouTube アップの投稿を行い連携周知を行った。</li> <li>● オンラインや SNS (Facebook、Twitter、Instagram) での情報発信 情報掲載用アプリ（チラシクラシック、チラシステージ、チラシミュージアム）や、情報サイト（ぶらあぼ online）、親子向け情報サイト（いこーよ）に公演情報やチラシを掲載したほか、今年度新たに落語専門チャンネル（日本で唯一の寄席演芸専門情報誌「東京かわら版」、落語系情報サイト「噺-HANASHI」、落語会情報）へ掲載し、情報発信を強化した。</li> <li>● 市外全域を対象にしたパブリシティでの情報発信 読売新聞・朝日新聞など全国紙、神奈川新聞・鎌倉朝日など地方紙、創年日日タイムズなど業界紙、タウンニュース・J:COM チャンネルなどローカルメディア、湘南ビーチ FM（ラジオ局）を通して市外全域を対象にしたメディアパブリシティを行った。</li> <li>● その他、市内各種媒体での情報発信 広報ずし、子育てわくわくメールマガジン、ナニスル、マグカルカレンダー（県情報誌）、イベントバンク（情報配信サイト）、「逗子・葉山に暮らす子育て世代のサイト『海山時間』」、逗子・葉山 WEB、mamamoana 等で、自主文化事業の情報発信を行った。 また、市役所のホール用ラック、市内掲示板、PR-BOX、交流センターラックを活用して情報発信した。</li> <li>● 近隣他館との連携 近隣他館・都内他館を中心に107館と連携し、催し物や情報誌を相互配架した。</li> <li>● ホールキャンバス ホールエントランスのガラス面を使った瓦版として展開し、ホールに関する情報発信を行った。</li> </ul> <p><b>【市ホームページのリニューアル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報の分類方法の見直し ユーザーが目的の情報を見つけやすくなるよう、ページ上部にメニューを配置し、全ての情報を6つに分類した。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ウェブアクセシビリティへの配慮 誰でも支障なく必要とする情報にたどりつけるよう配慮し、文字表現などの見直しを行った。</li> <li>● 広報ずしとの連携 広報ずしとホームページの同一記事にページ ID を付与し、広報ずしで伝えきれない情報をホームページ上で簡単に検索できる仕組みを導入した。広報ずし令和5年5月号からページ ID を記載している。</li> </ul>
② 情報のネットワークづくり	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際的な文化交流なども視野に入れ、近隣市町などの公共ホール、劇場、美術館、アートイベントなどとの連携を模索します。</li> <li>○ 市内の文化活動団体の交流支援をしていきます。</li> </ul>
実施内容	<p><b>【情報のネットワーク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 共育ポータルサイト「ナニスル」を引き続き運用。令和4年3月27日現在参加団体数656件。 (市民協働課) 前 令和3年度末現在参加団体数696件。</li> </ul> <p><b>【(一部(1)②再掲) 市民による文化事業への後援、協力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 共催・協力・後援に伴い、市内広報板へのチラシ掲出を行い、事業の周知を図った。 共催2件、後援24件 合計26件。 前 協力2件、後援22件 合計24件 (うちコロナ拡大防止のため1件中止)</li> </ul>
③ (仮称) 逗子アーカイブスの構築	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 点在する文化資源情報の収集・整理を進めるための基盤づくり(収集・整理に必要な知識や情報の蓄積など)を、市民と協働で行います。</li> <li>○ 文化資源情報の収集・整理の方法について検討します。</li> <li>○ 文化資源情報を整理し、将来的にはデジタル化、アーカイブ化により、市民が活用しやすい環境づくりにつなげます。</li> </ul>
実施内容	<p><b>【逗子フォト事業(企画課)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市ホームページでの写真公開枚数は、令和5年5月1日現在1,554枚。市ホームページリニューアルに伴い、公開する写真を整理した。 前 令和4年6月17日現在2,595枚。</li> </ul>

※新型コロナウイルス感染症の影響	● ホール&ギャラリーニュースの発行回数減(年4回→3回)と紙面の見直し。
------------------	---------------------------------------

自己評価と見直すべき点	<p>a. 順調である。 <b>b. 概ね順調である。</b> c. 順調であるとみなせない。</p> <p><b>【自己評価】</b> ホールは、SNSの情報発信強化として、各SNSの投稿数を増やす等、フォロワー数の増加に向けて注力した。全国紙・地方紙・業界紙・ラジオ局などのパブリシティを活用し市内外の情報発信に努めた。また、新たに、日本で唯一の寄席演芸専門情報誌「東京かわら版」などの専門情報チャンネルを新規開拓し、公演周知を行った。</p> <p><b>【見直すべき点】</b> 公演情報だけでなく、ホールなどを施設を紹介し利用を促進する紹介動画発信に取組み、さらなるSNSの活用と情報発信を検討していく。 「(仮称)逗子アーカイブス」については、逗子フォト事業との将来的な連動という形で検討することとなっているが、具体的な動きには至っていない。逗子フォト事業についても、市ホームページや市庁舎での写真の公開に留まっている。</p>
-------------	--

総合計画、基幹計画における位置づけと目標	<p><b>【総合計画実施計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市として特に戦略的・重点的に取り組む「リーディング事業」に、共育ネットワーク構築事業が位置付けられている。</li> </ul>
----------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「令和4年度までに、子どもを対象にした『共育』の講座に参加する子どもが年間延べ2,000人になっている」「『共育』に関するポータルサイトに参加している団体が200団体になっている」「生涯学習グループ・サークルの届出(登録)が250件になっている」「生涯学習関連情報の窓口が一本化されている」を目標としている。</li> </ul> <p>【基幹計画】共に学び、共に育つ、共育(きょういく)のまち推進プラン      &lt;共育ネットワーク構築事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和元年度における主な事業として「共育ネットワークシステムを運営する」「子ども対象講座事業を実施する。(立ち上げ、運営)」としている。</li> <li>● 「令和4年度までに、子どもを対象にした『共育』の講座に参加する子どもが年間延べ2,000人になっている。」を目標としている。</li> </ul>
--	---

<p>委員会の評価</p>	<p>a. 順調である。 <b>b. 概ね順調である。</b> c. 順調であるとみなせない。</p> <p>ホールは、SNSのフォロワーの増加や既存メディアを通してのパブリシティ活動など、市内外への情報発信に努めている。充実した豊かな暮らしを望む市民へのサービスとしてデジタル技術を駆使した情報の収集と活用は大いに有効であり、ポータルサイトを運用した情報ネットワークの構築等により情報の発信に注力されていることは評価できる。今後は公演情報だけでなくオンライン決済等のホール利用のサービス拡大や、市内の様々な文化情報の収集・発信にも取り組んでもらいたい。</p> <p>懸案の(仮称)逗子アーカイブスは逗子フォト事業の写真公開に留まっているため、次期の計画の中で実現可能な事業が企画されることを期待する。</p>
---------------	--

施策の柱	(6) 文化振興のための環境づくり
近隣市町などとの連携を視野に入れ、行政における推進体制の整備を行うとともに、ホールをはじめとする既存の施設の維持管理に努め、市民による自主的かつ主体的な文化活動が行える環境づくりを目指す。	
個別計画での基本施策と令和4年度の事業概要	
① 行政の文化振興体制の明確化と連携体制の整備	
目標	○ 文化振興所管課を中心として、関係部署との協力・連携を強化します。 ○ 文化を軸とした、行政の一体的、組織横断的な推進体制の確立を目指します。
実施内容	<p><b>【ホール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定管理者に対するモニタリングを毎月実施。(文化スポーツ課)</li> </ul> <p><b>【((4) ①再掲) その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旧脇村邸について、地元ボランティアグループによる定期的な維持管理を実施するとともに、NPO 団体主催による湘南邸園文化祭企画として限定公開を実施した。(緑政課) <ul style="list-style-type: none"> <li>前・現状の旧郷土資料館の活用について、社会教育課と緑政課で情報共有を図った。(緑政課)</li> <li>・旧郷土資料館の今後の活用について、市民からの意見等を参考に、引き続き検討している。(緑政課)</li> </ul> </li> <li>● 旧本多家住宅主屋1棟(山の根2丁目)が国の文化財登録原簿に登録された。(社会教育課) <ul style="list-style-type: none"> <li>前・池子神明社の神輿を市の重要文化財に指定した。(社会教育課)</li> <li>・正力邸別邸(主屋、蔵、表門)と須藤家住宅(主屋、旧ボイラー室)が国の文化財登録原簿に登録された。(社会教育課)</li> </ul> </li> </ul>
② 施設・設備の充実など	
目標	○ ホールの管理運営について、多くの市民の意見を取り入れながら、改善を図ります。 ○ バリアフリーやユニバーサルデザインなど、誰もが利用しやすい環境づくりのため、施設や設備の計画的な修繕・改修に努めます。 ○ まちなかに点在する空きスペースや休眠中の市の施設などの情報収集・発信に努めます。
実施内容	<p><b>【ホール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ホールの維持管理にかかる工事9件実施。(文化スポーツ課) (非常用発電機ディーゼルエンジン分解整備工事、コージェネレーション設備分解工事、音響調整卓改修工事、ワイヤレスマイク更新工事、舞台機構設備(リミットスイッチ)整備工事、自動制御機器更新工事、なぎさホール舞台照明設備整備工事、非常放送設備更新工事、非常階段手摺り更新工事)</li> <li>● 竣工17年目となる令和5年度に予定される改修工事等に向けて中長期修繕計画の立案を市と協議進行した。予防管理・危機管理に重点を置き、危険箇所の再抽出、メーカー調整、優先順位検討を行い、修繕計画支援を行った。</li> <li>● 図書館多目的トイレのベビーベッド、ベビーチェア破損等、利用者に影響する事象が発生した際も、迅速に交換工事を実施し、文化プラザ全体のバリアフリー化を目指し、誰もが利用しやすい環境維持を行った。</li> <li>● 足元の視界が悪く段差での落下リスクがあった搬入口照明スイッチを改善するため、人感センサーによる照明器具設置工事を実施する等、安全の確保に努めた。</li> <li>● コロナ禍でも安心して利用できるよう、噴霧器付き検温器を2台を追加購入し、感染拡大防止に努めた。</li> <li>● 館内に無料の公衆無線LANを設置し、市民が主体的な文化活動が行える環境づくりを行った。</li> <li>● 主催公演のチケット販売において、電子チケットとクレジットカード決済を導入し、接触機会の低減に努めた。</li> </ul>
③ 近隣市町との交流・連携	
目標	○ 文化プラザが地域の文化活動、創造的活動の拠点となり、他の近隣市町との交流・連携を進めます。
実施内容	<p><b>【((4) ③再掲) ホール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 逗子アートフェスティバル2022 ホール共催事業を全2企画開催した。 前ホール主催・共催事業を全3企画開催した。</li> <li>● ホールキャンパス2022、コロコロキャップの設置 地元アーティストTAMA氏を起用し、ホールエントランスのガラス面に瓦版を描く広報活動「ホールキャンパス2022」を実施した。また、ペットボトルキャップの再利用に向け、TAMA氏作の回収ボックス「コ</li> </ul>

	ロコロキャップ」を設置した。
※新型コロナウイルス感染症の影響	<p><b>【ホール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 近隣市町との交流・連携の取組みを行うことができなかった。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 神奈川県立近代美術館葉山との連携による美術講座（社会教育課）の中止。</li> </ul>

自己評価と見直すべき点	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	<p><b>【自己評価】</b></p> <p>ホールは、令和4年度は引き続き、感染症拡大状況に合わせた運営基準を設け防止対策と細やかな情報発信を行った。感染拡大期、感染安定期、感染再拡大期、感染収束期に合わせて利用制限の設定、利用者への周知を実施した。</p> <p><b>【見直すべき点】</b></p> <p>文化振興所管課を中心とした関係部署との協力・連携については、各部署の事業の情報共有に留まっている。近隣市町との連携については、再開に向けた具体的な取組みを検討する必要がある。</p>

総合計画、基幹計画における位置づけと目標	<p><b>【総合計画実施計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「2022年度（平成34年度）までに、ホール貸館利用者アンケートによる満足度で「良い」が75パーセントになっている。」を目標としている。</li> </ul> <p><b>【基幹計画】</b> 共に学び、共に育つ、共育（きょういく）のまち推進プラン      &lt;文化プラザホールの維持管理事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「令和4年度までに、中長期的改修計画に基づいた施設の改修工事を実施する。」を目標としている。</li> </ul>
----------------------	--

委員会の評価	a. 順調である。 b. 概ね順調である。 c. 順調であるとみなせない。
	<p>感染症対策は十分講じられており、特に利用者への情報提供もきめ細かになされている。ホール設備についても安全対策がなされ、今後に向けての中長期修繕計画の立案にも取り組まれている。指定管理業務に対するモニタリングも毎月実施し、指定管理者とホールの運営状況や課題を共有し、解決に向け協議していることは評価できる。</p> <p>また、地元のアーティストを起用して行ったホールの広報活動「ホールキャンバス2022」や、資源の再利用を呼びかける「ロコロキャップ」の設置等のホールの有効活用に向けた新たな取り組みは、界限の賑わいの創出にもつながったと思われる。</p> <p>一方で、ホールについては、地域の文化活動の拠点として、バリアフリー化やユニバーサル・デザインの導入等に配慮した環境づくりが望まれる。また、行政の文化振興体制の明確化・連携体制の整備という面では、庁内の関係部署との連携は十分進んでいるとは言えず、今後の課題として残っている。今後も、文化を軸にした、行政の一体的・組織的な横断体制の確立を目指して努力してもらいたい。</p>

参考資料

1. 逗子文化プラザホール 令和4年度自主文化事業

分類	事業名	実施日時	会場	チケット料金	対象 /定員	入場者数 (入場率)	備考 (チケット販売枚数または申し込み人数)	分類	事業名	実施日時	会場	チケット料金	対象 /定員	入場者数 (入場率)	備考 (チケット販売枚数または申し込み人数)
1	まちづくり 講座「コンサートの作り方」	6月10日(金) 6月17日(金)	逗楽高等学校	—	1年生	—	28人受講	13	社会的包摂 共催 みんなでアート2022	11月22日(火) ~25日(金)	さざなみホール ギャラリー	—	—	さざなみ 11月24日(木) 140人 11月25日(金) 50人 ギャラリー271人 (11月22日(火)~ 25日(金))	*逗子アートフェスティバル2022企画 *ワークショップ ①6月18日(土) ②7月9日(土) ③7月23日(土) ④8月3日(土) ⑤9月17日(土) ⑥9月23日(金) ⑦10月2日(日) ⑧10月8日(土)
2	トモイク 絵本作家 山本省三さんと 一緒に絵本をつくらう2022 こどものための手作り絵本講座 おとなのための手作り絵本講座	こども: 7月30日(土) 8月1日(日) 8月3日(水) 8月15日(月) おとな: 11月26日(土) 12月3日(土) 12月17日(土)	さざなみホール	参加費 リアル 2,000円 オンライン 1,000円 *オンライン受講者の材料は 別途200円で購入可	小学生以上 /70人 中学生以上 /35人 オンライン/60人 (各回20人)	こども: 70人 (100.0%) おとな: 36人 (102.8%) オンライン: 36人 (60.0%)	人数内訳 こども: 午前35人、午後35人、オンライン25人 おとな: 36人、オンライン11人 *先着順	14	地域資源 共催 逗子次世代育成プロジェクトVol.3 逗子 潮風芸術祭2022	12月17日(土)	なぎさホール	全席指定 一般 前売4,000円 (当日4,500円) 学生 前売2,000円 (当日2,500円)	507人	126人 (24.9%)	招待50人含む 最終券売数: 76枚 *学生料金は小学生~大学生
3	トモイク 手作り絵本のミニ展覧会	こども: 8月25日(木) ~28日(日) おとな: 1月27日(金) ~30日(月)	ギャラリー	—	—	こども: 139人 おとな: 319人	こども: 13作品展示 おとな: 16作品展示	15	鑑賞 逗子落語会 林家たい平・桃月庵白酒 二人会	1月9日(日) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 学生 前売2,000円 (当日2,500円)	551人	381人 (69.1%)	招待2人含む 最終券売数: 393枚 *未就学児入場不可
4	地域資源 絵本作家 山本省三さんと 一緒に絵本をつくらう2022 「はじまるはじまる」原画展	1月27日(金) ~30日(月)	ギャラリー	—	—	319人	—	16	鑑賞 【さざなみ落語会】 三遊亭わん丈&みんなで創る落語会 其の六	1月14日(土) 14:00開演	さざなみホール	全席自由 一般 2,000円 高校生以下 1,000円	120人	91人 (75.8%)	招待1人含む 最終券売数: 93枚 *未就学児入場不可
5	まちづくり アウトリーチ アート便2022	9~3月開催	市内小中学校	—	—	①77人 ②127人 ③118人 ④156人 ⑤120人 ⑥167人 ⑦60人 ⑧68人 ⑨169人 ⑩119人 ⑪103人 ⑫90人 計1,374人	和太鼓(和太鼓グループ彩-sai-) ①9月1日(木) 小坪保育園(1) ②9月2日(金) 逗子小学校5年生(1) ③11月22日(火) 久木小学校6年生(1) ④11月29日(火) 沼間中学校2・3年生(2) ⑤12月5日(月) 逗子中学校2年生(1) ⑥3月14日(火) 久木中学校2年生(1) 太神楽(鎗家勝丸) ⑦9月7日(水) 湘南保育園(1) ⑧11月21日(月) 小坪小学校6年生(1) ⑨2月22日(水) 久木中学校3年生(1) ⑩3月6日(月) 逗子中学校3年生(1) 落語(三遊亭わん丈) ⑪9月20日(火) 池子小学校3・4年生(1) ⑫11月2日(水) 沼間小学校5年生(1)	17	まちづくり 和太鼓グループ彩 逗子公演Vol.4 海も踊りだす演舞の祭!	1月21日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売3,500円 (当日4,000円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	496人	392人 (76.0%)	招待1人含む 最終券売数: 402枚 *未就学児入場不可
6	社会的包摂 親子で楽しむクラシック 名曲コンサート こどもオペラ 3匹のこぶた	7月9日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 おとな 前売1,500円 (当日1,800円) こども 前売500円 (当日800円)	551人	519人 (94.2%)	招待11人含む 最終券売数: 540枚(完売) *0才からチケット必要	18	地域資源 山田姉妹ソプラノデュオコンサート ~筑前響の音色とともに~	2月4日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売3,500円 (当日3,500円) 高校生以下 前売2,000円 (当日2,500円)	548人	457人 (83.4%)	招待17人含む 最終券売数: 466枚 *未就学児入場不可
7	鑑賞 渡辺香津美×沖仁	8月6日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 4,500円 高校生以下 2,500円	533人	509人 (95.5%)	招待7人含む 最終券売数: 523枚(完売) *未就学児入場不可	19	地域資源 若手演奏家シリーズ #12 SHOREI 一秀麗なる木曾五重奏の音色一	2月5日(日) 14:00開演	さざなみホール	全席自由 1,000円	120人	114人 (95.0%)	招待6人含む 最終券売数: 111枚 *未就学児入場不可
8	まちづくり 共催 交流センターフェア2022 県立逗楽高等学校 藍音楽部・吹奏楽部発表会	9月10日(土)	なぎさホール	全席自由 前売3,000円 (当日3,500円)	555人	178人 (32.1%)	—	20	社会的包摂 影絵劇「ふしぎの国のアリス」	2月18日(土) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 おとな 前売1,500円 (当日1,800円) こども 前売500円 (当日800円)	502人	435人 (86.7%)	招待14人含む 最終券売数: 485枚 *0才からチケット必要
9	社会的包摂 初心者向け手話体験ワークショップ	9月17日(土) 14:00開演	さざなみホール	参加費 500円	25人	7人 (28.0%)	最終申込数: 9人 *未就学児入場不可	21	鑑賞 TSUKEMEN CONCERT the BEST ~Road to 15th Anniversary~	3月11日(土) 16:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 4,500円 高校生以下 2,000円	525人	429人 (81.7%)	招待2人含む 最終券売数: 435枚 *未就学児入場不可
10	社会的包摂 HANDSIGN 手話パフォーマンスLIVE	10月2日(日) 14:00開演	なぎさホール	全席指定 一般 前売3,000円 (当日3,300円) 高校生以下 前売1,500円 (当日1,800円)	525人	248人 (47.2%)	招待3人含む 最終券売数: 254枚 *未就学児入場不可	22	トモイク 共催 トモイクフェスティバル2023	3月25日(土) 3月26日(日)	なぎさホール さざなみホール ギャラリー	—	小学生 /200人	1,800人	—
11	地域資源 共催 逗子アートフィルム上映会	10月8日(土)	さざなみホール	入場無料 (投げ銭)	72人	72人	*逗子アートフェスティバル2022企画 招待10人含む 最終券売数: 62枚	23	トモイク 共催 トモイクフェスティバル2023 コードモーション	3月26日(日)	さざなみホール	1組 500円	小学生 /200人	42組 (93.3%)	①17組②16組③9組 *1日3回、各回15組
12	地域資源 共催 逗子次世代育成プロジェクトVol.2 和太鼓×尺八×ピアノ Session Live	11月12日(土)	なぎさホール	全席指定 前売4,000円 (当日4,500円)	525人	153人 (29.1%)	招待22人含む 最終券売数: 140枚 *未就学児入場不可 *前日(11/11)に和太鼓ワークショップを開催	トモイク 共催 第4回駅前寄席 in 逗子文化プラザホール	11月14日(月)	—	—	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止	
								鑑賞 共催 なぎさプラス							主催者都合での中止



## 2. 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、逗子市文化振興条例（平成21年逗子市条例第15号）第7条第1項の規定に基づき、逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査及び評価を行い、その結果を教育長に提言する。

- (1) 逗子市文化振興基本計画（以下「基本計画」という。）における施策に関する適切な実施に関すること。
- (2) その他基本計画に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 公募による市民
  - (2) 学識経験を有する者
  - (3) その他教育長が特に必要があると認める者
- 2 委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

(委員長等)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、専門的事項について学識を有する者、市職員その他の者に対し、その出席を求めて意見又は説明を聴くことができるほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、文化スポーツ課において処理する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(招集の特例)

- 2 委員会の最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

### 3. 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会 名簿

役職	委員氏名	団体名、所属等
委員長	伊藤 裕夫	学識経験者（元富山大学芸術文化学部教授）
副委員長	富岡 幸一郎	学識経験者（関東学院大学教授）
	山崎 稔恵	学識経験者（関東学院大学教授）
	奥野 花代子	（市民）

（敬称略）

### 4. 逗子市文化振興基本計画 調査・評価委員会 会議日程

#### 第1回

開催日時：令和5年7月7日（金）10時00分～

開催場所：市役所第4会議室

出席委員：伊藤裕夫委員長、富岡幸一郎副委員長、山崎稔恵委員、奥野花代子委員

議題：（1）令和4年度事業に関する評価の対象、方法について

（2）令和5年度事業について

（3）その他

#### 第2回

開催日時：令和5年9月11日（月）14時00分～

開催場所：市役所第1会議室

出席委員：伊藤裕夫委員長、富岡幸一郎副委員長、山崎稔恵委員、奥野花代子委員

議題：（1）令和4年度事業に関する評価について

（2）その他

逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会  
令和4年度事業に関する評価報告書

発行 逗子市文化振興基本計画調査・評価委員会  
発行日 2023年（令和5年）12月  
編集 逗子市市民協働部文化スポーツ課  
〒249-8686 神奈川県逗子市逗子5-2-16  
TEL: 046-873-1111 FAX: 046-873-4520  
E-mail: bunkasports@city.zushi.lg.jp